

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022 年 10 月 31 日

事業所名：療育支援リンクサポート

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を遵守し、スペースを確保しています。活動内容により、近隣の当社指定管理施設のプールや運動施設・会議室等の広いスペースを使い、活動を実施しています。	1.はい 18 2.どちらともいえない 4 3.いいえ 0 4.わからない 0	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。感染症対策として、人数制限等の調整をしつつ実施していきます。
	2 職員の適切な配置	法令で示された配置数とプログラム(プール、ダンス等)に応じた職員の確保をしています。	1.はい 22 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 0	引き続き維持していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内のバリアフリー化と、活動時の子どもたちの動線を考慮しています。シンプルな内装等にし、利用者の注意・集中を妨げることの無いよう、配慮しています。	1.はい 19 2.どちらともいえない 3 3.いいえ 0 4.わからない 0	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	冷暖房の完備により、年間を通じて活動時に快適な過ごしやすい環境設定・温度設定をしています。また、新型コロナウイルス感染予防等に考慮し、定期的に室内の換気を行っています。	1.はい 21 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 1	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。また、今後も、利用保護者様への体調チェック表の記入をお願いし、感染予防に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々、業務に就く前に申し送りと、当日参加者の状況確認を行います。随時、カルテや支援記録の確認、モニタリング等の目標や支援経過について情報交換を行うとともに、定期的なカンファレンスを実施し、目標設定と評価、今後の支援について話し合う機会を持っています。	/	今後も、意見交換や報告・伝達のを確保し、職員の積極的な参画が実現できるよう、努力いたします。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	従来の利用者・事業所内の二者評価に加え、プライバシーマーク取得の申請をし、個人情報管理の強化に努めています。	/	社内では、毎月の施設モニタリングを実施し、改善箇所の確認をし、点検、チェックを行っています。またプライバシーマーク取得申請に必要な要求事項の改善に取り組んでいます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部での講習会等へ参加する等の、研修機会を設けています。また、AEDや感染症予防について事業所内で、実習や研修する機会を持っています。	/	引き続き、職員の資質向上のため事業所内での実習や研修を、実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的な、職員間での支援状況の確認や、計画・支援の見直しを行い計画を作成しています。また、モニタリングの際に保護者のニーズを確認し、必要に応じて修正しています。	1.はい 20 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 2	引き続き、丁寧な支援が行えるよう取組んでいきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の課題と集団での課題を、子どもの運動能力や、行動特性に合わせて設定し、児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成をしています。	1.はい 20 2.どちらともいえない 1 3.いいえ 0 4.わからない 1	必要に応じて、小集団での活動と個別活動を組み合わせて行っています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々にあわせた支援目標や、支援内容について必要な支援方法や、環境等の配慮について記載しています。	1.はい 21 2.どちらともいえない 1 3.いいえ 0 4.わからない 0	引き続き、丁寧な支援が行えるよう取組んでいきます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に基づき、利用者一人ひとりの特性や興味、取り組みの様子に合わせて支援を行っています。	1.はい 21 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 0	引き続き、適切な支援を行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各プログラムの担当者が立案し、実施しています。日常的に、子供たちの様子等について意見交換を行い修正等を行っています。		引き続き、積極的な意見交換をし、魅力的な活動が提案できるよう取組みます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	活動時間は一定であるが、活動場所の変更を伴う場合には、活動内容を工夫し対応しています。		今後も、状況に応じたきめ細かな支援が出来るよう、工夫していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節や期間を決めて、子どもたちが飽きることなく楽しんで参加できるようプログラムを更新しています。成功体験ができ、自信を持って次の学びにつながるような工夫をしています。	1.はい 19 2.どちらともいえない 1 3.いいえ 0 4.わからない 1	引き続き、工夫をしたプログラムが提供できるよう、取組みます。また、落ち着いて活動に参加できるよう、音楽をかける等の子どもたちの特性に合った環境を整えます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々の業務に入る前に、伝達や申し送りをすると共に、伝言ノート等を活用して情報の共有・役割分担の確認を行っています。		現状を維持しつつ、更により良い意思疎通が出来るよう確認を徹底していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動報告を記入したり、振り返り・申し送りを行うことで、情報の共有を行っています。		現状を維持しつつ、更により良い意思疎通が出来るよう確認を徹底していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用者のプログラムへの参加の様子や、変化点について記録し、見直しや改善を行うと共に、目標に向けた継続した支援を、実施しています。		引き続き、正確な記録を心がけ、支援の検証や改善点について取組みます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的な、カンファレンスやモニタリングを行い、保護者への生活状況の確認や現状報告を受けて、必要に応じて見直す機会を設けています。		継続して取組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	個別支援会議について依頼された際には、職員間で状況を確認の上、児童発達支援管理責任者が参加し、情報提供や報告を行っています。現場の職員も、可能な限り会議に参加しています。		可能な限り参画し、連携を図ります。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	専門機関を交えた、個別支援会議が開かれる際には、会議に参加し情報提供と情報共有を行っています。個人情報については、保護者を通じて、専門機関での評価や情報を得て、支援の参考にしています。		今後も、保護者からのご希望や必要があれば、随時、会議への参加や情報提供を行います。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	事業所の受け入れが、小学生に限っているため、卒業後に障害福祉サービスへの移行対象となる利用者がありません。		今後、保護者からのご希望や必要があれば、随時情報提供を行います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	利用児童の個別支援会議等へ参加し、情報交換や連携を取るようになっています。		今後も、必要に応じて行っていきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	水中プログラムの際に、健常児向けスイミングスクールと、隣接するコースを使ったり、同じグループで活動する機会を設けています。	1.はい 4 2.どちらともいえない 5 3.いいえ 4 4.わからない 8	今後、健常児スイミングスクールへの体験参加や、イベント参加の機会を提供できるようにしていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	健康増進施設を利用して活動しているため、地域住民の方々に挨拶をしたり、声をかけていただく機会が多い状況です。		現状を維持し、地域住民の皆様のご理解をいただけるよう努力していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に保護者に向けて、説明すると共に随時行っています。	1.はい 22 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 0	現状を維持すると共に、丁寧な説明を更に心がけます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期的なモニタリングの際に、保護者に向けて説明を行い質問等をお受けしています。	1.はい 22 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 0	現状を維持すると共に、丁寧な説明を更に心がけます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	利用者の特性を説明する中で、対応の方法を伝えたり、家庭でもできる方法を伝えるようにしています。「ペアレント・トレーニング」の講座開催は出来ませんが、紹介等の情報提供を心がけています。	1.はい 7 2.どちらともいえない 5 3.いいえ 4 4.わからない 6	今後も、保護者からのご希望や必要があれば、随時、会議への参加や情報提供を行います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳のやり取りや、面談、送迎の際に、子どもの姿を保護者に伝え、見えてくる課題や特性、今後の課題について共通理解できるよう努めています。	1.はい 19 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 1	現状を維持すると共に、丁寧な説明や対応を更に心がけます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時、相談をお受けして対応させていただいています。必要に応じて、他の機関を紹介したり、相談支援専門員への相談を薦めています。	1.はい 13 2.どちらともいえない 5 3.いいえ 0 4.わからない 1	現状を維持すると共に、丁寧な説明や対応を更に心がけます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在のところ、具体的な会の開催や支援は行っておりませんが、地域のNPO法人と連携し、保護者向けの講座の紹介や保護者会の紹介を行っています。	1.はい 2 2.どちらともいえない 6 3.いいえ 9 4.わからない 6	今後も、保護者向け講座や保護者会等の情報提供を心がけます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に、苦情相談窓口の説明を保護者に向けて行っています。相談を受けた場合には、関係者からの事実確認を早急におこなう等、迅速かつ丁寧に対応するよう心がけています。また、対応内容については、書面での報告を行っています。	1.はい 12 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 7	現状を維持すると共に、丁寧な説明や対応を更に心がけます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要な場合には、口頭だけでなく書面での伝達やお知らせを行っています。	1.はい 21 2.どちらともいえない 1 3.いいえ 0 4.わからない 1	現状を維持すると共に、丁寧な説明や対応を更に心がけます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事業所のHPを開設していると共に、保護者向けのお便りを定期的に発行しています。	1.はい 19 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 1 4.わからない 1	今後も、HPやお便りの内容や記載方法について検討し、取り組み等の発信ができるよう努力します。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	プライバシーマークの取得を申請中。個人情報管理の強化に努めています。	1.はい 21 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 0 4.わからない 1	プライバシーマークの取得のための必要事項を改善し個人情報管理の強化に繋げていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルの整備をし、時期や必要に応じて事業所内に掲示する等して、周知しています。	1.はい 15 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 1 4.わからない 5	今後も、必要に応じて修正・整備していきます。また、研修後には、お便りにてお知らせしていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	防災訓練をプログラムに組み入れて実施し、地域の避難所や福祉避難所への、経路を利用者と共に確認しています。	1.はい 15 2.どちらともいえない 0 3.いいえ 1 4.わからない 5	年に2回以上、利用者と共に避難訓練を、行っています。今後も、定期的の実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	利用者に対応する際は、複数人での対応としています。また虐待防止委員会を設置し、研修会の実施や職員の意識向上につとめ、虐待防止に繋がっています。		更に、意識を高めるよう研修等で、学ぶ機会を作ります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援内容により、人命に関わる場合における身体拘束については、契約時保護者に説明し、同意を受けるようにしています。		現状を継続します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、更新時に保護者に食物アレルギーに関する情報提供をお願いしています。また、現在、給食やおやつを提供を行っていませんが、活動内容により必要な場合には、事前に状況の確認を行うようにしています。		今後も、適切な対応を更に心がけます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員からの報告と報告書作成を行い、事業所内で共有・確認を行っています。		更に意識を高め、詳細に報告するとともに、いろいろな場合を想定した改善に向けて努力します。